

## ⑤研究指導・研修等に関する事業一覧

プロジェクト名	担当部門	頁
国際研修「漆の保存と修復」(修05)	保存修復科学センター	77
無形文化遺産に関する助言(無)	無形文化遺産部	78
文化財の材質に関する調査と援助・助言(保)	保存修復科学センター	78
文化財の修復及び整備に関する調査・助言(修)	保存修復科学センター	79
美術館・博物館等の環境調査と援助・助言(保)	保存修復科学センター	81
文化財の虫菌害についての調査・助言(保)	保存修復科学センター	84
保存担当学芸員研修(保05)	保存修復科学センター	85
連携大学院教育(共)	保存修復科学センター	87



## 国際研修「漆の保存と修復」(⑤修05-09-4/5)

### 目 的

海外の美術館・博物館の保管する漆工品は、乾燥した環境と保存状況の違いから損傷を持つ作品が多い。また不慣れな取り扱いから破損する場合もある。そのため海外の日本美術品保管担当者や学芸員から漆工品の保存と修復についての問い合わせが増加している。それらの疑問や問い合わせは、海外において日本の修復材料・技法に関する学習や作品の取り扱いに関しての経験が少ないためといえる。本研修は、漆文化財に関する保存修復の講義および演習を通して、研修参加者に、漆文化財に関わる基礎知識を伝えるものである。

### 成 果

本年度は約10ヶ国、9人の参加者を募り、漆の国際研修『漆の保存と修復 2009』を開催し、漆の保存と修復についての基礎研修を行った。さらに新たな試みとして2名の1カ月実践研修『漆工品の保存と修復』も実施した。

研修日程 「漆の保存と修復 2009」2009(平成21)年9月2日(水)～9月15日(火)

「漆工品の保存と修復」2009(平成21)年9月16日(水)～10月15日(木)

研修場所 東京文化財研究所

研修対象 漆文化財の保存と修復を担当する学芸員、修復技術者、科学者および保存担当者

研修参加者 「漆の保存と修復 2009」(9名): ミクリン・クニファツ・シルビア(保存修復工房 オーストリア)、ウエブ・マリアンヌ(ロイヤル・オンタリオ博物館 カナダ)、ガスナー・ウルセル・アッダ(アントン・ウルリッヒ公美術館 ドイツ)、シェルマン・ナンケ(ビクトリア&アルバート博物館 イギリス)、コリーキアルズ・キタミカド・ジョアンナ(ワルシャワ国立博物館 ポーランド)、ドス・サントス・ヌーネス・ペティシュカ・マリア・ジョアン(美術博物館・保存研究所 ポルトガル)、ミチリ・マリナー(エルミタージュ美術館 ロシア)、アータル・イブラン・ポーラ(ウースター美術館 アメリカ)、ヘギンボサム・アーレン(J.ポール・ゲッティ美術館 アメリカ)

「漆工品の保存と修復」(2名): ガスナー・ウルセル・アッダ(アントン・ウルリッヒ公美術館 ドイツ)、レンツ・バラシュ(ハンガリー国立博物館 ハンガリー)

### 研修内容

日本における漆工の歴史、漆の科学と調査方法、伝統的な漆工技術、漆工品や漆塗装の修復理念の講義と修復方法の基礎実習を行った。またスタディーツアーを9月6日～9月9日の3泊4日で企画し、日本産漆の80%近くを生産している二戸市浄法寺町周辺を訪れ、日本の漆文化財の歴史と伝統、現状を視察した。引き続き行った実践研修では、東京都港区實相寺所蔵の会津松平家縁の常香盤を教材として保存修復作業に関する一連の実習作業を行った。

報告書およびテキストの刊行 3件: ・『Urushi 2009, International Course on Conservation of Japanese Lacquer: 漆の保存と修復 2009』 National Institute for Cultural Properties, Tokyo 145p 10.3・『International Training Program: The Preservation and Restoration of Urushiware: 漆工品の保存と修復』 National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo 92p 10.3・『Textbook Japanese Lacquer -Intermediate-: 研修用テキスト漆一中級編一』 National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo 143p 09.8

### 研究組織

○川野邊渉、北野信彦、加藤雅人、早川典子、川端冴子(以上、保存修復科学センター)

## 無形文化遺産に関する助言 (⑤無)

無形文化遺産の保存・伝承・活用等に関する各種委員会等へ出席し、以下の指導・助言を実施した。(宮田繁幸・高桑いづみ・飯島満・俵木悟・菊池理予)。

- 1) (財) 伝統文化活性化国民協会への助言(データベース構築、ふるさと文化再興事業、伝統文化こども教室関連事業等に関して) 18件
- 2) 日本ユネスコ協会連盟への助言(東北ブロックユネスコ活動研究会に関して) 2件
- 3) (財) 日本青年館への助言(全国民俗芸能大会に関して) 4件
- 4) 石川県教育委員会・輪島市教育委員会への助言(無形文化遺産フォーラムに関して) 4件
- 5) 千葉県伝統文化伝承委員会への助言(無形民俗文化財記録作成事業に関して) 4件
- 6) 日本芸術文化振興会への助言(基金助成事業、民俗芸能公演、文楽公演、デジタルコンテンツに関して) 12件
- 7) 日本放送協会への助言(能楽関連放送に関して) 4件
- 8) 文化庁伝統文化課への助言(国際民俗芸能フェスティバル、無形文化遺産保護条約に関して) 4件
- 9) 社会教育実践センターへの助言(観光立国に関して) 1件
- 10) 文化庁芸術文化課文化活動振興室への助言(文化芸術による創造のまち支援事業に関して) 12件

## 文化財の材質に関する調査と援助・助言 (⑤保)

### 1) 文化財の材質調査

様々な文化財資料について、その材料や彩色を科学的に調査し、化学組成や化学的構造を明らかにした。可搬型の機器を用いて、文化財資料が置かれている場所での現地調査も実施した。調査終了後には報告書を作成し、分析依頼元へ提出した。

(資料名)	(所蔵者/依頼者)
漆工品	文化庁
銅造仏	百済寺
人体模型	美術院
日本画	東京藝術大学
ガラス、玉製品	沖縄県
塑像	ウズベキスタン芸術学研究所/創価大学
経典	文化庁
漆工品、日本画	広島市立大学
染色品	女子美術大学
絵画	首里城
金銅仏	文化庁
漆工品	出光美術館

## 2) X線透視撮影による構造調査

X線透視撮影を用いて文化財資料の構造を調査し、資料の制作技法や劣化の状態を明らかにした。

	資料名	(所蔵者／依頼者)
彫刻	仏像	百済寺
	塑像	ウズベキスタン芸術学研究所／創価大学
	脱活乾漆像	高円寺
絵画	厨子板絵	東京藝術大学美術館
工芸品	刀剣	日本美術刀剣保存協会
	仏器	松本市立博物館
	漆工芸	出光美術館
埋蔵文化財	賢瓶	高野山
その他	楽器	彦根城博物館
	楽器	野村美術館
	漆工品	實相寺
	文書	東洋文庫
	民具	豊北歴史民俗資料館

## 文化財の修復及び整備に関する調査・助言 (⑤修)

- ・重要文化財・新垣家住宅「東又窯」の修復に関する指導助言 (川野邊渉)  
覆い屋の倒壊により被害を受けた登り窯のうち、被害の少ない上部の3室のみを強化修復を行って保存する方針で材料および工法の選定に関して助言した。必要となる予備実験に関しても指導を行った。
- ・国宝・高松塚古墳壁画の保存修復に関する指導助言 (川野邊渉、北野信彦、加藤雅人、早川典子、森井順之)  
石室解体後修理施設にある高松塚古墳壁画の保存修復について指導助言を行った。
- ・特別史跡・キトラ古墳壁画の保存修復に関する指導助言 (川野邊渉、北野信彦、加藤雅人、早川典子、森井順之)  
キトラ古墳の壁画取り外しや取り外し壁画片の保存修復に関する指導助言を行った。
- ・厳島神社の保存修復に関する指導助言 (川野邊渉、北野信彦、早川典子、森井順之)  
厳島神社大鳥居の修復に向けて、現地での材料選定など指導助言を行った。
- ・熊本城「細川家舟屋形天井画」の調査 (川野邊渉、早川典子)  
熊本城内にある「細川家舟屋形天井画」の保存状態について調査を行うとともに修復に関する助言を行った。
- ・キトラ古墳壁画複製品に係る指導・助言 (川野邊渉、早川典子)  
キトラ古墳壁画複製陶板の作成に係る指導助言を行った。
- ・重要文化財・霧島神宮本殿の修復に関する指導助言 (川野邊渉、早川典子、森井順之)  
霧島神宮本殿の彩色修復に関して、材料選定や環境についての指導助言を行った。
- ・国宝・臼杵磨崖仏の保存修復に関する指導助言 (川野邊渉、早川典子、森井順之、朽津信明)  
次期保存修理工事に向けて、磨崖仏表面の劣化防止策に関する指導助言を行った。
- ・史跡・大分高瀬石仏の保存修復に関する指導助言 (川野邊渉、森井順之)  
仏龕表面の劣化状態及び周辺環境に関する調査結果より、有効な保存修復方法について指導助言を行っ

た。

- ・ 史跡・大分元町石仏の保存修復に関する指導助言（川野邊渉、森井順之）  
塩類風化による磨崖仏劣化に関して、原因究明に関する調査を実施した。
- ・ 大分県指定史跡・川中不動の保存修復に関する指導助言（川野邊渉、森井順之）  
磨崖仏表面の劣化状態に関する調査を実施した。
- ・ 日光二社一寺の世界遺産環境モニタリングに関する指導助言（川野邊渉、森井順之）  
文化財周辺環境モニタリング手法を日光市に移転し、調査結果整理に関する助言を行った。
- ・ 根津美術館蔵「石造八角経幢」の保存修復に関する指導助言（川野邊渉、森井順之）  
表面劣化の著しい石造文化財に関して、修復技法に関する助言を行った。
- ・ 史跡屋形古墳群の保存整備に関する指導助言（川野邊渉、森井順之、坪倉早智子）  
装飾古墳のカビ処置方法に関する指導を行うとともに、保存環境を実施した。
- ・ 重要文化財富岡製糸場の保存修復に関する指導助言（中山俊介）  
富岡製糸場の修復方針に関する指導助言を行った。
- ・ 重要文化財旧手宮鉄道施設（小樽市）の保存修復に関する指導助言（川野邊渉、中山俊介）  
機関車庫 1 号の半解体修理において修復材料・技術に関する指導助言を行った。
- ・ 御料車及び 1 号機関車（交通博物館）の搬出入方法に関する指導助言（川野邊渉、中山俊介）  
御料車及び 1 号機関車の移設に際して、搬出入方法に関する指導助言を行った。
- ・ 所沢航空発祥記念館所蔵 91 式戦闘機胴体の保存修復に関する指導助言（川野邊渉、中山俊介）  
91 式戦闘機胴体の保存修復に関する指導助言を行った。
- ・ 第五福竜丸エンジンの保存修復に関する指導助言（川野邊渉、中山俊介）  
第五福竜丸エンジンの修復技術・材料に関する指導助言を行った。
- ・ 日本橋の修復に関する指導助言（川野邊渉、中山俊介）  
日本橋の修復手法に関する指導助言を行った。
- ・ 長崎県上五島町江袋教会の焼損部材の再使用に関する指導助言（川野邊渉、中山俊介）  
江袋教会に関して焼損した部材の中から再使用できる部材に関してその修復方法に関する指導助言を行った。
- ・ 陸上自衛隊入間基地修武台記念館の収蔵環境に関する指導助言（中山俊介）  
修武台記念館の収蔵品の保存環境についての指導助言を行った。
- ・ 佐渡金銀山の近代産業遺産の保存に関する指導助言（中山俊介）  
佐渡金銀山に各種残る近代産業遺産の保存修復に関する指導助言を行った。
- ・ 端島（軍艦島）に残るコンクリート建造物の保存と修復に関する指導助言（中山俊介）  
端島（軍艦島）に残るコンクリート建造物、レンガ造建造物の保存と修復に関して指導助言を行った。
- ・ 愛知県豊田市の百々貯木場、伊世賀美隧道の保存活用に関する指導助言（中山俊介）  
百々貯木場、伊世賀美隧道の保存と活用に関する指導助言を行った。
- ・ 新日鉄八幡製鉄所内に保管されているガラス乾板等の保存に関する指導助言（中山俊介）  
新日鉄八幡製鉄所内に残る数万枚のガラス乾板の保存に関する指導助言を行った。
- ・ 稲童地区に残るコンクリート製掩体壕の保存に関する指導助言（中山俊介）  
行橋市稲童地区に残るコンクリート製掩体壕の保存に関する指導助言を行った。
- ・ 三井万田坑の修復に関する指導助言（中山俊介）  
三井万田坑の修復に関する指導助言を行った。
- ・ 北方漁船博物館の保存環境に関する指導助言（中山俊介）  
北方漁船博物館の保存環境に関する指導助言を行った。
- ・ ひたちなか市武田西塙遺跡出土「わらじ状炭化物」の保存処理に関する指導助言（北野信彦、森井順之）  
過去に保存処理が施された出土文化財について、メンテナンスに関する助言を行った。

- ・京都市埋蔵文化財研究所に対する出土歴史資料の保存処理に関する現地指導（北野信彦、吉田直人）  
京都市内出土資料の文化財科学的な調査研究と保存処理に関する現地指導を行った。
- ・仙台市春日社古墳出土漆革楯の保存修復作業に関する指導助言（北野信彦）  
脆弱遺物である土付きの出土漆塗膜の保存修復に関する指導・助言を行った。
- ・鹿苑寺金閣不動堂石室内「不動像石仏」の保存修理工事に関する指導・助言（北野信彦）  
風化が著しい石室内における石造文化財の保存修理工事に関する指導・助言を行った。
- ・慈照寺銀閣観音殿建造物外観塗装の保存修理工事に関する指導・助言（北野信彦）  
慈照寺銀閣観音殿に外観塗装されていた漆塗料と白色顔料の文化財科学的調査に関する指導・助言を行った。
- ・本光寺松平忠雄公墓所出土漆工品の保存修復作業に関する指導助言（北野信彦）  
本光寺松平忠雄公墓所出土漆工品の保存、修復、管理に関する指導・助言を行った。
- ・瑞巖寺本堂欄間の彩色材料の文化財科学的調査に関する指導・助言（北野信彦）  
瑞巖寺本堂における桃山文化期の欄間彩色材料の調査と保存修復に関する指導助言を行った。
- ・兵庫陶芸美術館における近世丹波焼の伝統技術に関する指導助言（北野信彦）  
兵庫陶芸美術館において近世丹波焼の伝統技術である赤土部に関する文化財科学的調査の指導助言を行った。
- ・松浦市鷹島海底遺跡からの検出資料の保存修復作業に関する指導助言（北野信彦）  
鷹島海底遺跡で検出された元寇関連資料の保存修復作業に関する指導助言を行った。
- ・鳥取県指定有形民俗文化財「長谷寺の絵馬群」の保存修復に関する助言（犬塚将英、加藤雅人）  
絵具等が剥離・剥落している絵馬の保存修復方法と安置環境に関する助言を行った。
- ・養源院襖絵修復に係る指導・助言（早川典子）  
合成樹脂の使用されていた重要文化財養源院襖絵の修復に関して指導助言を行った。
- ・国宝三十帖冊子の修復に関する指導助言（早川典子）  
国宝三十帖冊子に使用されている接着剤の修復に関する指導助言を行った。
- ・重要文化財・0.5 t 及び 3 t スチームハンマーの修復後モニタリングに関する指導助言（森井順之）  
近代化遺産の保存環境モニタリングに関する助言を行った。
- ・神奈川県指定重要文化財・英勝寺仏殿墓股の修復に関する指導助言（森井順之）  
木材腐朽菌により劣化した墓股について、修復材料・技法に関する助言を行った。

## 美術館・博物館等の環境調査と援助・助言（⑤保）

国宝・重要文化財などの指定品および東京国立博物館収蔵資料の借用に関して館内環境調査を行い、報告書を作成・提出した。

北海道	北海道開拓記念館	石川	石川県立美術館
岩手	平泉文化遺産センター		白山市鶴来博物館
東京	國學院大學伝統文化リサーチセンター		小松市埋蔵文化財センター
	根津美術館		金沢能楽美術館
	山種美術館	福井	福井県陶芸館
新潟	新潟市美術館		敦賀市立博物館
	長岡市馬高縄文館	静岡	浜松市美術館
	十日町市博物館	滋賀	滋賀県立琵琶湖博物館

⑤研究指導・研修等 Area26

	木下美術館	島根	島根県立石見美術館
	苗村神社収蔵庫		島根県立古代出雲歴史博物館
京都	大谷大学博物館	岡山	津山洋学資料館
大阪	正木美術館	山口	下関市立考古博物館
	逸翁美術館収蔵庫	愛媛	松山市考古館
兵庫	兵庫県立考古博物館		宇和島市立伊達博物館
	鉄斎美術館	福岡	北九州市立美術館
奈良	斑鳩町文化財活用センター	沖縄	沖縄県立博物館・美術館

現地調査（24館）

是川縄文館・仙台市博物館・群馬県立館林美術館・埼玉県立歴史と民俗の博物館・東書文庫・山種美術館  
 根津美術館・東京大学駒場博物館・東京大学経済学部資料室・一橋大学社会学部古典資料センター  
 新潟市美術館・三重県立新博物館・長楽寺・三千院・誉田八幡宮・大阪歴史博物館・逸翁美術館  
 東大寺総合文化センター・出雲弥生の森博物館・高知県立歴史民俗資料館・土佐山内家宝物資料館  
 新九州歴史資料館・都城島津伝承館・上野原縄文の森展示館

また函館市縄文文化交流センターなど、全国134館の新設既設美術館・博物館等文化財展示収蔵施設に対して環境改善に関する相談を受け、助言を行った。これらの館については各館ごとに環境調査ファイルを作成して調査を行っている。

北海道	函館市縄文文化交流センター 有珠善光寺 北海道開拓記念館	東京大学駒場博物館 一橋大学社会学部古典資料センター 国士館大学イラク古代文化研究所 國學院大學伝統文化リサーチセンター資料館 中央大学図書館 東京書籍「東書文庫」 根津美術館 五島美術館 三菱一号館美術館 山種美術館 森美術館 明治神宮宝物殿	
青森	是川縄文館	新潟	長岡市馬高縄文館 十日町市博物館 新潟市美術館 新潟市埋蔵文化財センター
岩手	花巻市博物館 平泉文化遺産センター収蔵庫 平泉郷土館	富山	佐藤記念美術館 石川県立美術館 小松市埋蔵文化財センター 白山市鶴来博物館 金沢能楽美術館
宮城	仙台市博物館	福井	福井県陶芸館 敦賀市立博物館
群馬	群馬県立館林美術館 不動寺	山梨	山梨県立美術館 平山郁夫シルクロード美術館
埼玉	埼玉県立歴史と民俗の博物館 埼玉県立さきたま史跡の博物館 調神社		
千葉	市川市東山魁夷記念館 聖徳大学博物館		
東京	憲政記念館 外務省総務部図書館 東京都現代美術館 東京都美術館 すみだ北斎美術館 渋谷区立松濤美術館 青梅市立美術館 町田市立美術館 文京区役所アカデミー推進課 東京大学経済学部資料室		

長野	伊那創造館 佐久市立川村吾蔵記念館 茅野市尖石縄文考古館 松本市美術館 安曇野ちひろ美術館 マリー・ローランサン美術館	兵庫	兵庫県立考古博物館 たつの市立埋蔵文化財センター 明石市立文化博物館 姫路市立美術館 神戸市立博物館 鉄斎美術館 BBプラザ美術館
岐阜	岐阜県現代陶芸美術館 岐阜県立博物館	奈良	奈良県立美術館 斑鳩町文化税活用センター 東大寺総合文化センター 高松塚古墳壁画修理作業所
静岡	静岡県立美術館 静岡市美術館（仮） 浜松市美術館 MOA美術館 佐野美術館	島根	島根県立石見美術館 島根県古代出雲歴史博物館 出雲弥生博物館 荒神谷博物館 松江歴史館
愛知	碧南市藤井達吉現代美術館 豊川市桜ヶ丘ミュージアム 安楽寺	岡山	津山洋学資料館
三重	三重県立新博物館（仮） 斎宮歴史博物館 松阪市文化財センター「はにわ館」 朝日町歴史博物館 石水博物館 皇學館佐川記念神道博物館	広島	筆の里工房
滋賀	滋賀県立琵琶湖博物館 多賀町立博物館 木下美術館 苗村神社収蔵庫	山口	下関市立考古博物館 萩博物館 阿弥陀寺
京都	京都文化博物館 八幡市立松花堂美術館 佛教大学アジア宗教文化情報研究所 大谷大学博物館 立命館大学国際平和ミュージアム 花園大学歴史博物館 三千院円融蔵 長楽寺 泉屋博古館 桂文化財修理工房	愛媛	松山市考古館 宇和島市立伊達博物館 坂の上の雲ミュージアム 伊曾乃神社
大阪	高槻市しろあと歴史博物館 大阪歴史博物館 逸翁美術館 近畿日本鉄道新美術館（仮） 正木美術館 菅田八幡宮拝観庫	高知	高知県立美術館 高知県立歴史民俗資料館 土佐山内家宝物資料館
		福岡	新九州歴史資料館（仮） 北九州市立自然史・歴史博物館 北九州市立美術館 福岡市美術館
		佐賀	小城市立歴史資料館
		長崎	壱岐市立一支国博物館
		熊本	熊本市立熊本博物館
		大分	小武寺収蔵庫 真木大堂
		宮崎	都城島津伝承館
		鹿児島	上野原縄文の森展示館 南種子町教育委員会 薩摩伝承館
		沖縄	沖縄県立博物館・美術館

## 文化財の虫菌害についての調査・助言 (⑤保)

文化財の虫菌害への個々の対応、もしくは防除方法全般について問い合わせを受け、調査や助言を行った。  
(木川りか、佐野千絵、犬塚将英、吉田直人、石崎武志)

静嘉堂文庫美術館

大倉集古館

上杉神社

三千院

福岡市美術館

静岡県立美術館

女子美アートミュージアム

飯田市美術博物館

逸翁美術館

法隆寺

千葉県立中央博物館

森美術館

国立歴史民俗博物館

新潟市美術館

奈良県美術館

根津美術館

中尊寺

立正佼成会開祖記念館

鹿児島県立図書館

滋賀大学経済学部附属史料館

鹿児島市立美術館

厳島神社

彦根城博物館

島根県立古代出雲歴史博物館

鳥取長谷寺

天理大学付属図書館

国立国会図書館

ブリヂストン美術館

岡山県立博物館

みちのく北方漁船博物館

吹田市博物館

入間基地資料館

茂原市立美術館・郷土資料館

金沢文庫

福岡県総務部経営企画課

東京都写真美術館

かつらぎ市教育委員会

大阪歴史博物館

## 保存担当学芸員研修 (⑤保05-09-4/5)

### 1) 保存担当学芸員研修

期間：2008（平成21）年7月13日（月）～24日（金）、参加者数 31名

近年、各地方において博物館・美術館等の数が増加し、施設が近代化されるとともに、資料の保存への関心が高くなってきている。しかしながら、保存科学の知識を習得しようとしても適切な学習の場や教材がないのが現状である。そこで本研究所では、資料の保存に携わる学芸員がその職務に必要な知識と技術を持てるよう研修を行おうとするものである。この趣旨のもと、第26回保存担当学芸員研修を開催した。

7月13日（月）

石崎武志「保存科学 総論」

佐野千絵「保存環境 各論 一文化財の材質・構造」

朝賀浩（文化庁）「保存環境 各論 一文化財公開施設の設計一」

犬塚将英「保存環境 各論 一温湿度一」

7月14日（火）

犬塚将英・吉田直人「保存環境実習 一温湿度測定機器の取扱い一」

木川りか「生物被害 概論」

佐野千絵「保存環境 各論 一室内汚染一」

吉田直人・犬塚将英「保存環境 実習 一室内汚染の測定法と環境調査一」

7月15日（水）

木川りか「生物被害 各論 一カビ一」

山本記子（保存修復支援技術者 絵画・書跡）・木川りか「生物被害〈実習〉一カビの除去一」

山本記子（保存修復支援技術者 絵画・書跡）「劣化と保存 各論 一日本画一」

吉田直人「保存環境 各論 一光と劣化・照度基準一」

三浦定俊「博物館の設備 一防災・防犯一」

7月16日（木）

木川りか「生物被害 各論 一文化財害虫一」

小峰幸夫（文化財虫害研究所）・木川りか「生物被害〈実習〉一文化財害虫同定一」

神庭信幸（東京国立博物館）「東京国立博物館における講義と見学」

7月17日（金）

北野信彦「劣化と保存 各論 一漆工品一」

三浦定俊「調査手法 各論 一構造調査一」

ケーススタディテーマ打ち合わせ

7月21日（火）

犬塚将英「温湿度実習解説」

土屋裕子（東京国立博物館）「劣化と保存 各論 一修復材料一」

加藤雅人「劣化と保存 各論 一紙一」

早川泰弘「保存環境 各論 一大気汚染の影響一」

早川泰弘「調査手法 各論 一材質調査（無機物）一」

7月22日（水）

「環境調査実習 一ケーススタディ一」（於：千葉県立中央博物館）

7月23日（木）

歌田眞介（東京芸術大学名誉教授）「劣化と保存 各論 一油彩画一」

## ⑤研究指導・研修等 Area27

山口孝子（東京都写真美術館）「劣化と保存 各論 一写真一」  
高妻洋成（奈良文化財研究所）「劣化と保存 各論 一考古資料一」  
石崎武志・佐野千絵・木川りか・吉田直人・犬塚将英「ケーススタディ報告」

7月24日（金）

吉田直人「調査手法 各論 一材質調査（有機物）一」  
石崎武志「劣化と保存 各論 一屋外の文化財一」

研修参加者名：伊藤英之、植野比佐見、大西稔子、加藤光男、木戸脇直、沓名貴彦、小林彩子、小林祐子、米谷博、佐々木美帆、穴倉恵美子、篠原達也、陳岡めぐみ、田島奈都子、立松由美子、塚原晃、徳永佳世、長井裕子、永塚俊司、永用俊彦、日高和広、平川信幸、廣瀬就久、福島修、藤井亜紀、舩田隆満、村山閑、守岡利栄、山田光洋、山中由紀子、吉留徹

所属：国立歴史民俗博物館、文化庁文化財部美術学芸課、国立西洋美術館、岩手県立博物館、古河歴史博物館、那珂川町馬頭広重美術館、埼玉県立嵐山史跡の博物館、千葉県立中央博物館、茂原市立美術館・郷土資料館、東京都現代美術館、三井記念美術館、五島美術館、横浜市ふるさと歴史財団、北方文化博物館、金沢21世紀美術館、福井県立美術館、山梨県立博物館、安曇野ちひろ美術館、岐阜県現代陶芸美術館、斎宮歴史博物館、栗東歴史民俗博物館、神戸市立博物館、姫路市立美術館、和歌山県立近代美術館、島根県立古代出雲歴史博物館、岡山県立美術館、広島城、土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム、坂の上の雲ミュージアム、宮崎県立美術館、沖縄県立博物館・美術館

### 2) 博物館・美術館等保存担当学芸員研修フォローアップ研修

日程：2008年6月22日、会場：東京文化財研究所、参加者：69名

1981（昭和56年）より毎年、当研究所で開催している博物館・美術館等保存担当学芸員研修の修了者数は500人を超えた。修了生の尽力によって、収蔵・展示環境は大きく改善し、またそのための知識も広く認識されるに至った。しかし、この間にも、科学の進歩とともに、館内環境改善のための技術は発展し続けている。このような時代の進展に伴い、従来とは異なる知識が学芸員に要求されている。本研修では、保存担当学芸員研修終了者を対象に、その職務に必要な最新の知識を常に持つことを目的に、再研修を行おうとするものである。

プログラム・講師

石崎武志「保存環境総論」  
犬塚将英「保存環境各論『温湿度』」  
佐野千絵「保存環境各論『空気汚染』」  
吉田直人「保存環境各論『照明』」

### (3) 資料保存地域研修

博物館・美術館などの文化財公開施設における資料保存は、保存を担当する学芸員の努力によっていることはもちろんであるが、学芸員以外の館長、事務官や警備員、監視員、空調機器の管理・保守作業員など、博物館の様々な業務に携わる多くの人々の理解がなければ、円滑に進まない。本研修は文化財保護に関する知識を、文化財公開施設に勤務するできるだけ多くの職員に短い日数で学んでもらうため、各地の博物館協議会などの協力を得て1998（平成10）年度より開催するものである。

[第14回] 2009（平成21）年11月27日・28日、於：愛媛県美術館  
共催：愛媛県博物館協会・えひめミュージアム研究会、参加者：51名

プログラム・講師

佐野千絵「保存環境概論」  
犬塚将英「温湿度の制御と管理」  
吉田直人「空気汚染の制御と管理」  
吉田直人「照明の制御と管理」  
佐野千絵「これからの生物被害防除法」

## 連携大学院教育（⑤共）

東京芸術大学：システム保存学（保存環境学、修復材料学）

1995（平成7）年4月より東京芸術大学と連携して大学院教育を行い、21世紀の文化財保存を担う人材を育成している。システム保存学は、文化財の保存環境を研究する保存環境学講座と保存修復に用いる材料について研究する修復材料学講座の2講座から成っている。各講座3名ずつ研究所所員が連携教員として研究教育指導に当たっている。

連携教員及び主たる担当授業

保存環境学講座

連携教授 石崎武志（保存修復科学センター長）

連携教授 佐野千絵（保存科学研究室長）

連携准教授 木川りか（生物科学研究室長）

修復材料学講座

連携教授 川野邊渉（保存修復科学副センター長）

連携教授 中山俊介（近代文化遺産研究室長）

連携准教授 北野信彦（伝統技術研究室長）

助 手 間渕創（東京芸術大学大学院教育研究助手）

授業および主たる担当教員

保存環境計画論（前期） 佐野千絵 連携教授

修復計画論（前期） 川野邊渉 連携教授

修復材料学特論（前期） 中山俊介 連携教授・北野信彦 連携准教授

修復材料学演習（前期） 今期は開講せず

保存環境学特論（後期） 石崎武志 連携教授・木川りか 連携准教授

文化財保存学演習（2009年6月16日）

「考古遺物の処置と取り扱いについて」

担当：北野信彦 連携准教授

於：東京文化財研究所



文化財保存学演習風景